



# 令和元年10月31日 首里城火災発生



2019.10.31 国営沖縄記念公園事務所 撮影 写真左=炎上する正殿、写真右上・右下=消火活動を行う様子

貴重な国民の文化遺産を回復する目的で復元が進められてきた国営沖縄記念公園首里城地区は、「平成の復元」として平成31年2月1日にすべてのエリアを開園しましたが、令和元年10月31日未明に発生した火災により、正殿をはじめとする主要9施設を焼失し、国内だけにとどまらず、国外にも衝撃を与える事態となりました。



2019.1.5撮影 火災前



2019.11.1撮影 火災後

全焼 一部焼失



2019.10.31 発行された号外  
提供: 沖縄タイムス社, 琉球新報  
左=沖縄タイムス+プラス, 右=琉球新報WebNews

## 火災後の復元に向けた主な取り組み、経緯

政府は、火災後速やかに「首里城復元のための関係閣僚会議」を立ち上げ、令和元年12月11日には、「首里城復元に向けた基本的な方針」が決定されました。

これを受け、沖縄総合事務局では、首里城復元に向けた技術的な検討を行うことを目的として、「首里城復元に向けた技術検討委員会」及びその専門ワーキンググループ(「防災」、「木材・瓦類」、「彩色・彫刻」)を設置し、専門家による復元に向けた技術的課題についての検討を進めてきました。令和2年3月27日には関係閣僚会議において「首里城正殿等の復元に向けた工程表」が決定、首里城正殿については令和4年度中の本体工事着手、令和8年までの復元を目指すこととしています。



2019.12.28 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会



2020.3.27 第4回 関係閣僚会議 官房長官会見  
提供: 琉球朝日放送 QAB NEWS Headline

首里城正殿等の復元に向けた工程表		(年度)								
出典: 首相官邸HP 2020.3.27 第4回 首里城復元のための関係閣僚会議		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9以降
正殿	材料調査(大径材)	市場調査								
	設計	基本設計		実施設計						
	材料調達(大径材)	調達・乾燥								
工事		仮設道路がれき撤去		木材倉庫	発注手続(WTO)	本体工事				
	北殿、南殿等	撤去 正殿復元の施工ヤードとして使用		撤去	検討					工事

### 火災後の主な経緯

- 令和元年度
  - 2019. 10. 31 首里城火災発生
  - 11. 6 第1回 首里城復元のための関係閣僚会議
  - 12. 2 第2回 首里城復元のための関係閣僚会議
  - 12. 11 第3回 首里城復元のための関係閣僚会議  
**「首里城復元に向けた基本的な方針」決定**
  - 12. 27 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
- 2020. 2. 5 第1回 彩色・彫刻WG
- 2. 7 第1回 防災及び木材・瓦類合同WG
- 2. 19 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
- 2. 26 第2回 防災WG
- 3. 3 第2回 木材・瓦類及び彩色・彫刻合同WG
- 3. 13 第3回 首里城復元に向けた技術検討委員会
- 3. 17 「首里城正殿等の復元の工程表策定に向けた技術検討に関する報告書」手交式
- 3. 27 第4回 首里城復元のための関係閣僚会議  
**「首里城正殿等の復元に向けた工程表」決定**

- 令和2年度
  - 2020. 5. 21 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
  - 6. 12 **首里城公園正殿遺構等一般公開開始**









## No.3 大龍柱の応急処置、養生作業の着手

(令和2年2月27日, 3月5日)

火災の影響によりひび割れ、欠損等の損傷が生じていた首里城正殿前の2体の大龍柱について、損傷の進行を防ぐための応急処置に必要な作業足場の設置、損傷進行防止のためのビニルシートやステンレスバンドによる養生作業が着手された様子を公開しました。首里城正殿前の大龍柱2体は、激しい火災の中、奇跡的に焼け残った龍柱として世間の注目も高く、2回に分けて現場を公開し、応急処置及び養生作業の詳しい内容、本格的な補修作業の予定等について説明を行いました。

6:29 首里城 大龍柱修復へ足場設置 大型連休後から作業開始へ

6:30 首里城 大龍柱修復へ足場設置 大型連休後から作業開始へ

6:30 首里城 大龍柱修復へ足場設置 大型連休後から作業開始へ

2020.2.27 大龍柱応急処置開始

2020.3.5 大龍柱養生作業開始

提供: 琉球朝日放送 QAB NEWS Headline

### 焼け残った首里城の大龍柱を応急処置 GW後に本格修復へ

2020年2月28日 06:30

首里城 龍柱 火災

昨年10月に正殿などが焼失した沖縄県那覇市の首里城公園で27日、焼け残った大龍柱の応急処置が始まった。

沖縄総合事務局によると、火災現場を一般公開する5月のゴールデンウィーク(GW)までは現在の場所で保護し、その後、園内に移動してひび割れ部分などを修復する。

国営沖縄記念公園事務所の鈴木武彦所長は「県民だけでなく全国の関心も高い」とし、来園者が修復の様子を見られるようにする。

同日、報道陣に公開された。焼け残った大龍柱は与那国産の細粒砂でできており、高さ約3・1メートル、重さ約1・5トン。全焼した正殿の正面で向かい合っている。

火災の影響で表面が変色したほか、複数のひび割れや欠損が生じている。総合事務局は今後、損傷状況を詳細に調べる。

琉球新報提供: 2020.2.28 Web News

### 大龍柱に4桁のひび 損傷拡大防止へ補強

火災に耐えて残った首里城の大龍柱に、最大で幅約4リ、長さ約4桁のひび割れがあったことが5日、分かった。内閣府沖縄総合事務局は、ひび割れ防止のため、幅は約4リ、長さ約4桁のひび割れを補強する方針を明らかにした。ひび割れは、約4桁のひび割れが広がっており、ひび割れ防止のため、幅は約4リ、長さ約4桁のひび割れを補強する方針を明らかにした。

先月27日に始まった応急処置作業に続き、5日は緩衝材や金属製バンドを龍柱に巻き付け、損傷が広がらないよう保護した。今後、数日かけて、支柱を添えるなどして補強する。

世界遺産である正殿地下遺構の一般公開が予定される5月のゴールデンウィークごろまでは、補強された状態にする方針。その後は龍柱自体を別の場所に移し、本格的な補修作業に着手する。

4リ。また、高さ約40リ、幅約20リが欠落した部分もあった。細かいひびや欠損は他に多数あったという。

先月27日に始まった応急処置作業に続き、5日は緩衝材や金属製バンドを龍柱に巻き付け、損傷が広がらないよう保護した。今後、数日かけて、支柱を添えるなどして補強する。

世界遺産である正殿地下遺構の一般公開が予定される5月のゴールデンウィークごろまでは、補強された状態にする方針。その後は龍柱自体を別の場所に移し、本格的な補修作業に着手する。

沖縄タイムス社提供: 2020.3.6 沖縄タイムス 25面

## No.4 首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア実施

(令和2年3月23日)

火災により影響を受けた首里城の赤瓦について、将来の施設の復元等、様々な形で利活用の可能性がある瓦の漆喰はがしを行うボランティアが募集され、令和2年3月23日から開始された漆喰はがしの様子について公開しました。

漆喰はがしのボランティアは、新型コロナウイルスの影響で4月5日から一時中止となりましたが、開始から一時中止までに県内外から931名が参加、約6900枚の瓦の漆喰はがしが実施されました。

首里城復元ボランティア 赤瓦再利用へ漆喰はがし

ボランティア活動 北殿や南殿で使われていた再利用できる赤瓦の漆喰はがし

提供: 2020.3.23 琉球朝日放送 QAB NEWS Headline

### 首里城 赤瓦再利用へ ボランティアから作業

昨年10月に焼失した首里城の再建に向け、焼け残った赤瓦を再利用しようと、国と県が一般公募したボランティアが漆喰はがし作業を23日、正殿前の北之庭で始めた。一般市民に現場を公開した。

この日は正殿の地下遺構を保護する砂を除去する作業が進む中、約100人のボランティアが作業した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当初予定から約3週間遅れて開始。4月26日まで行われる。

首里城 赤瓦再利用へ ボランティアから作業

沖縄タイムス社提供: 2020.3.24 沖縄タイムス 1面

### 焼け残った赤瓦から漆喰はがし 1枚1枚心込め 「首里城復興の役に立ちたい」

2020年3月23日 11:01

首里城再建

昨年10月に火災で焼失した首里城の再建に向け、焼け残った赤瓦を再利用しようと、ボランティアによる漆喰(しっくい)はがしが23日、首里城内で始まった。31日までに約900人が参加する予定。県や総合事務局などは、強度があり、活用できる瓦は再建時の建物に使用する考え。

漆喰は瓦と瓦をつなぎ止める建築材料。23日は午前と午後約100人が参加し、首里城内で焼け残った北殿、南殿などの屋根にあり、破損や欠損がない瓦の漆喰をはがす。

23日午前の参加者らは赤瓦に付着した漆喰を金属製の特殊なへらで、はがしていた。看護師の前田子さんは「少しでも首里城復興に役立ちたい」と気持ちを入れて作業をしている。漆喰の張り付き加減が瓦ごとに違うので難しいが、携わったことがない作業に参加できて貴重な体験だ」と語った。【琉球新報電子版】

琉球新報提供: 2020.3.23 Web News

## No.5 首里城施設(北殿)の一部撤去工事の着手

(令和2年3月31日)

令和2年3月31日には正殿遺構公開の見学通路整備に向けて、屋根コンクリート片の剥落等が発生し、危険な状態にある北殿の一部撤去作業に着手し、重機により撤去が開始される様子を公開しました。

焼失した施設の撤去作業としては火災後初として、テレビ、新聞、Web動画など、幅広いメディアで報道されました。

### 焼け残った首里城北殿の鉄筋撤去始まる 4月下旬までに完了 公開へ遊歩道整備

2020年3月31日 12:41

首里城火災 西建

沖縄総合事務局は31日、火災で焼失した首里城正殿などの再建に向け、焼け残った北殿の鉄筋やコンクリートの撤去作業を始めた。ゴールデンウィークまでに正殿地下の遺構を一般公開する方針。公開部分にあり歩行ルートを確保するため、4月下旬ごろまでに北殿の撤去と遊歩道の整備を完了させる予定だ。

同日午前、報道陣に作業が公開された。作業員が重機を使って天井や壁の一部を崩したり、粉じん防止のためにホースで水をかけたりしていた。沖縄総合事務局によると、北殿周辺の撤去はおおむね終了しているという。今後、南殿や黄金御殿、二階御殿の撤去作業を進める。

琉球新報提供: 2020.3.31 Web News

### 首里城北殿 解体始まる

世界遺産の遺構 公開向け通路設置へ

屋根を撤去する作業が31日午前、首里城内で始まった。

沖縄タイムス社提供: 2020.3.31 沖縄タイムス+プラス 動画

【北殿】の撤去工事始まる 大型連休での公開に備え

首里城【北殿】撤去工事 5月の大型連休で首里城正殿の遺構など一部公開に備え行われる

【北殿】の撤去工事始まる 大型連休での公開に備え

首里城 施設の撤去工事が行われるのは火災後初

提供: 2020.3.31 琉球朝日放送 QAB NEWS Headline



## No.6 首里城公園正殿遺構等一般公開

(令和2年6月11日, 6月12日)

火災により立ち入りが制限されていた首里城公園の有料区域について、正殿遺構等の公開準備が整い、令和2年6月12日に約7か月ぶりに一般公開となりました。

正殿遺構等の一般公開前日の6月11日には、報道機関及び地元関係者、観光・建設関係団体向けの内覧会が実施され、内覧会、一般公開初日の様子が2日間にわたり報道されました。



2019.6.11 地元関係者、観光・建設関係団体向け内覧会



2019.6.12 一般公開初日  
提供:琉球朝日放送 QAB NEWS Headline

### 首里城の有料区域きょう公開 「見せる再建」始まる

2020年6月12日 07:32



昨年10月の火災以降、一般客の入場ができなかった首里城公園の有料区域が、12日午前10時10分から公開される。御庭(うなー)に焼け残った大龍柱や、全焼した正殿の地下にある15~17世紀の遺構、正殿奥にある東(あがり)のアザナなどを見ることができる。新型コロナウイルスの影響で約1カ月延期を経ての公開。「見せる再建」が本格的に始まる。

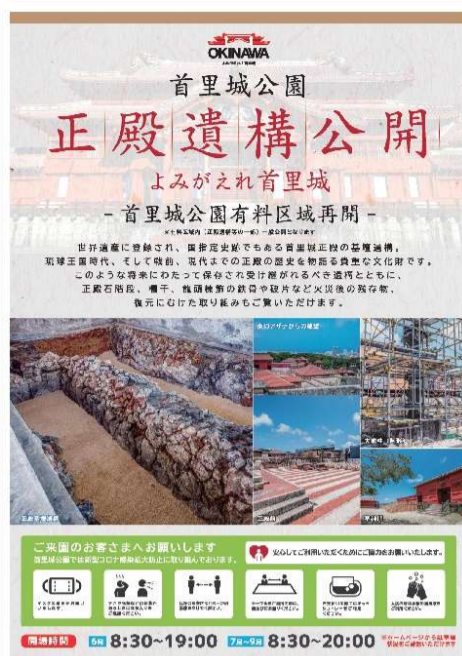
(中略)

沖縄タイムス社提供:2020.6.12 沖縄タイムス+プラス

### 首里城有料区域が一般公開



琉球新報提供:2020.6.13 琉球新報 22面



正殿遺構公開チラシ

## No.7 大龍柱補修作業場整備の本格着手

(令和2年7月22日)

火災により損傷を受け、応急処置、養生作業を実施した首里城正殿大龍柱について、補修作業を実施するための作業場整備の工事が本格着手となり、基礎工事を行う現場の様子を公開しました。

大龍柱補修作業場完成後は、窓越しに大龍柱の補修を行う様子を見学いただける予定です。



### 首里城、大龍柱補修の作業場整備 「見せる復興」修復過程を公開

2020年7月22日 16:06

昨年10月末の火災で正殿などが焼失した那覇市の首里城で22日、焼け跡に残った一対の大龍柱を補修する作業場の整備が報道陣に公開された。「見せる復興」の一環で、一般客も作業場の窓越しに修復過程を見られるようにする。

焼損した奉神門前の下之御庭にプレハブ小屋を設置するため、作業員らが強い日差しの下、基礎鉄筋の組み立てなどを進めた。内閣府沖縄総合事務局によると、9月下旬にも大龍柱を小屋に移し、11月中旬までに修復を終える予定。首里城復元の際に作り直す大龍柱の見本とし、展示する。

沖縄タイムス社提供:2020.7.22 沖縄タイムス+プラス



2020.7.22 現場取材の様子

## 首里城「見せる復興」今後の取り組み

国営沖縄記念公園事務所では、首里城の復元・復興に向けて、「見せる復興」の一環として、火災からの復元・復興の姿をはじめとする首里城公園としての魅力を伝えるための多角的な情報発信を展開していきます。

### 具体的な取り組みイメージ (調整中)

#### 取組① 実物展示・現場見学

首里城火災により被害を受けた正殿遺構や破損瓦等を実物展示、復元工事の現場を一般公開

#### 取組② 貸出し展示

首里城火災により被害を受けた破損瓦等を地域の博物館や小学校へ貸出展示

#### 取組③ デジタル配信

VRや動画等を活用し、宣伝・誘客・学習等の効果が高いデジタルコンテンツを公式HPやSNS等で発信

#### 取組④ 園内デジタルサービス

VRやAR、MR、既存映像を活用し、場所性の高いコンテンツを園内でサービス提供



### 首里城公園 facebook 配信中

